

平成28年第8回狭山市定例教育委員会会議録

開催日時 平成28年8月18日(木)
午後1時40分から午後4時15分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄
教育長職務代理者 吉 川 明 彦
委 員 荒 川 和 子
委 員 橋 本 秀 樹
委 員 宮 崎 英 子

欠 席 者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	小 澤 一 巳	次長兼教育総務課長	滝 嶋 正 司
学校統廃合担当課長	金 子 等	社会教育課長	大 寺 宏 之
中央公民館長	田 中 肇 夫	中央図書館長	奥 富 悟
スポーツ振興課長	栗 原 和 昭		
学校教育部長	井 堀 広 幸	参事兼教育指導課長	和 田 雅 士
教育センター指導主事	井 上 健	学 務 課 長	奥 野 高 雄
入間川学校給食センター所長	小 澤 栄 一	書 記	中 山 昭 夫

傍 聴 者 数 0名

報告事項

- ・平成28年度平和祈念講演会について

報告者(社会教育課長)

(要旨)

平和を願う心を醸成することを目的として毎年実施している。今年度は、9月25日(日)に中央図書館を会場に実施する旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、講演会に関する資料は、当日のみの展示か、それとも何日間か展示してあり、見られるのかとの質疑に、講演会に関する資料については、その日限りである。ただし、図書館では、終戦記念日を軸に、図書の特別本のコーナーを毎年設けており、現在、戦争に関する図書コーナーを設置している旨の答弁がなされた。昨年までは、平和祈念講演会では、平和記念式典に参加した中学生がその感想を述べていたが、それが無くなった理由はこの質疑に、昨年までは、平和記念式典に中学生の代表が参加していたが、宿

泊場所の確保が難しいこと、また、一泊二日の強行軍では体力的にも大変であること等から廃止になったと聞いている旨の答弁がなされた。

- ・平成28年度夏期企画展の開催結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

平成28年度夏期企画展「すごいぞ！神わざペーパーレリーフ展」を6月4日（土）から6月26日（日）までの19日間開催した。入館者数は964人であった。この企画展は、平成27年度より導入している指定管理者によるもので、この夏期企画展も含め各企画展の開催に合わせ、関連事業を実施している旨の報告がなされた。

- ・平成28年度埼玉県学力・学習状況調査の概要と結果について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

本調査は、平成28年4月14日（木）に、小学校4年生から6年生及び中学校1年生から3年生を対象に実施したものである。調査結果としては、狭山市と埼玉県の平均正答率で県の平均正答率よりも良かった項目は、小学校4年生の算数、小学校6年生の国語と算数、中学校1年生の数学、中学校2年生の数学と英語であった。質問紙調査の結果については、勉強する理由、モチベーションについては、狭山市の児童・生徒は、概ね「勉強することが楽しい、好きだから」、「先生や家の人にほめられたいから」という項目で県の結果よりも高い数値が出ている。ただ、「将来の進学や就職の役に立つから」という点については、若干県より低い結果になっている。動機付けについては高いものがあるが、課題としては、普段の勉強のやり方については課題があると第一段階の分析では見ている。例えば、「勉強していて分からないことがあったら、先生にきく」という項目については中学校3年生については県の結果よりもマイナス6.8%である。「問題が退屈でつまらないときでも、それが終わるまでなんとかやりつづけられるように努力する」という項目についても、特に中学生は学年が上がるごとに県の平均との開きが出てくる。そのほか、「学校の授業の予習や復習をしていますか」ということについても、県の平均より学年が上がるごとに開きが出てきているということが本市の課題と考えている。学習時間については、「全くしない」という割合が中学校3年生においては顕著に県と比較すると多いということが課題になっている旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、県と比較すると、中学3年生が学習時間が少ないということであるが、全国学力調査でも5年生のときから低い状況であった。学習の習慣が小学校からあまりついていないか、或いは、勉強がおもしろくない子が多かったのかと捉えることが出来ると思う。中学3年生まで続いたというのは、途中もっと指導することで改善が図られたら良かったと思う。学年によって随分違うが、中学3年生になってこれだけやっていないということが出

るのは、もう少し家庭学習とか自ら行う学習を教えなくてはいけないのではないかと感じた旨の意見がなされた。勉強する楽しさがだんだんなくなって、勉強する苦しさが分ってきて、成績が下がっていくのはよくあることではないかと感じているが、普段の勉強が、県と比較し低いということは、あきらめが早かったり、勉強しても楽しくなくなって、だんだんあきらめてしまう。小学校5年生のサマースクールを見ても勉強して答えを見つけようという前にあきてしまいそこまで到達しない。全然勉強する意味が分らないようなところが、最近の子供たちの傾向かなと感じた。学校はもちろん教育委員会、家庭の3者で動機付けをしっかりとしていけないといけないと思う。このテストを行ったからには各個人が自分の結果を知り、学力の伸びを知り、自信を持っていけるような対策を見つけられるよう学校が支援することが大切である旨の意見がなされた。学力というのは、環境と資質と動機付けだと思っているが、動機付けについては、内面から湧き上がってくるやる気を作っていくことが一番大事だと思う。質問紙調査の結果からも、自分に自信がない。自信を付けさせるような取り組み、やればできるという感覚である自己効力感を、これは勉強だけではなくてその人の人生に関わることになってくると思うので、自己有用感をつけるような取り組みを行ってもらいたい。教員が、様々な取組をしていると思うが、きめ細かくその子らしさを引き上げながら自信をつけるというようなきめ細かい取組が必要と思う。QUなどを利用して一人ひとりを大事に教育してもらいたい旨の意見がなされた。狭山市では、スマートフォンを持っていない子供たちが割と多いということがわかって良かった。中学3年生の規律ある態度が県平均よりやや低いというのは非常に残念だと思う。家庭と学校と連携しながら態度が向上するように取り組んでもらいたい旨の意見がなされた。

・狭山市教育委員会後援名義の使用行事一覧について

報告者 (スポーツ振興課長)
(社会教育課長)

(要旨)

スポーツ振興課関係2件及び社会教育課関係6件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、「公開講演会」とは、何を行うものかとの質疑に、一般社団法人によるもので、会員向けと会員以外の方に対する公開講演会の2本立てのような位置付けになっている。これまでも「公開講演会」という行事名については、話をしているところではあるが、このような行事名になっている旨の答弁がなされた。目的は会員相互の交流かとの質疑に、会員相互だけではなくて、一般の方にも参加してもらうことを目的としている。いわば社会への貢献活動の一環と位置付けられているものである旨の答弁がなされた。行事名に関して、「公開講演会」ということでは幅が大きすぎるので、行事が特定できるような名称にしてもらいたい旨の意見がなされ、代表者に伝える旨

の答弁がなされた。「クロスカントリー」大会に、「狭山市体育協会創立60周年記念」という冠がついているが、特別に何か周年に合わせた事業や取組みというものはあるのかとの質疑に、これは、実行委員会形式で取り組んでおり、今のところ具体的なものはあがっていないが一部ではオリンピックを招くことは出来ないだろうかという思いはあるようであるが、今のところ記念として何かを行いたいというところである旨の答弁がなされた。

議 案

議案第27号 狭山市立幼稚園授業料減免に関する規則の一部を改正する規則

国の幼稚園就園奨励費補助金交付要綱及び被災幼児就園支援事業国庫補助における補助限度額の一部改正に伴い、狭山市立幼稚園授業料減免に関する規則の一部を改めるため、提案がなされたものである。

教育委員からの質疑等では、国からの補助金などはあるのかとの質疑に、国からの補助金については、平成26年度をもって無くなっており、今般の授業料の減免については全て一般財源での対応となっている旨の答弁がなされた。

議案第27号については、原案可決した。

議案第28号 平成27年度狭山市一般会計歳入歳出決算（教育関係）

平成27年度狭山市一般会計歳入歳出決算（教育関係）について、市議会の認定を受けるため、提案がなされたものである。

教育委員からの質疑等では、中学校文化・スポーツ活動支援事業費の実績はどの質疑に、交付件数は、148件で、交付人数は、延べ4,453人である。主なものとしては埼玉県吹奏楽コンクール県大会、埼玉県学校総合体育大会、ジュニアオリンピック等への参加である旨の答弁がなされた。昨年度、入間川地区の中学校統廃合がなされたが、それに関し1億2千万円強の予算を使っているが、これに関する予算は今年度からは全く無くなるのかとの質疑に、28年度についても中学校統廃合推進事業費の予算付はある。主な内容としては、狭山台中学校の空調設備の工事費、また、今年度、東中学校から主に狭山台中学校に生徒が移り、部活動において統合先の狭山台中学校のユニフォームで統一しなければならないような大会出場に際して、ユニフォームを市から学校へ支給するといったものである旨の答弁がなされた。入間中学校や東中学校といった廃校となった施設の管理は、教育委員会ではなくなるのかとの質疑に、一般的に学校を廃止すると、教育財産から普通財産へと財産区分が変わり、教育委員会から速やかに市長部局の財産を管理する部署へ

移管するが、狭山市では所管課が確定するまでは、教育総務課で教育財産的に管理をしている状況である旨の答弁がなされた。入間中学校や東中学校の跡利用について、入間中学校の一部は決まっているが、東中学校は決まっておらず、地域での利用は一部あるものの放置された状態では、防犯上の観点からも良いことではないと思う旨の意見に、実際校舎としては使用していないが、今年度、市を売り込んでいこうという趣旨で、はじめに入間中学校の校舎を使い、映画の撮影場所として有料で貸し出しをした。それを皮切りにドラマの撮影、有名歌手のプロモーションビデオの撮影或いはCMの撮影等に有料で貸し出しをしている。今後も、跡地利用の方向性が出るまでの間は、そういった形で校舎を活用し収入を得るとともに防犯面でも支障のないよう適切に管理できればと思っている。また、地域の方々からの利用の要望もあり、優先的に校舎或いは校庭等の貸し出しを積極的に行っている旨の答弁がなされた。小学校及び中学校就学援助事業費のなかに、東日本大震災就学援助費、東日本大震災学校給食費とあるが、その対象人数はとの質疑に、児童については13名、生徒は1名である旨の答弁がなされた。除湿温度保持工事の進捗状況はとの質疑に、昨年度、堀兼中学校の設計をして、本年度工事ということで進めており、残すは山王中学校のみである旨の答弁がなされた。山王中学校の工事の展望はとの質疑に、予定では、来年度工事ということで準備を進めているところであるが、国の補助金を受けており、その調整をしている状況である旨の答弁がなされた。

議案第28号については、原案可決した。

議案第29号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき平成27年度教育委員会事務事業点検評価を実施したので、提案がなされたものである。

教育委員からの質疑等では、教育は、なかなか成果が目に見えないということも多々あるが、数値化できるものは数値化してPDCAを回していくというスタンスだと思う。その数値化してPDCAを回していく上では、この点検項目をこの物差しで計って良いのかという妥当性についてはいろいろあるのではないかと思う。そこは、日々、様々な情報が集まってくるそれぞれの部署で考えて、点検評価の精度を上げて実効性のあるPDCAを回して効果を上げていてもらいたい旨の意見がなされた。PDCAを回すのに数値目標を掲げることは非常に大切なことだと考える。しかしながら、これはどうしてもアウトプットの指標になりがち傾向があるので、どのように成果が、ここに掲げる数字のみならず、どういう変容、変化をきたしたかという視点で精度を上げるように、この目標の設定についても常に検討していきたいと考える旨の答弁がなされた。こういった調査は、数字の信頼性と計る物差しの妥当性が求められると思う。狭山市はこういった評価は他市に先んじて

始めたと思うので、非常に精度が上がってきていると思う。さらに妥当性を求めて精度を高めていって効力を上げていってほしい旨の意見がなされた。

議案第29号については、原案可決した。

以 上